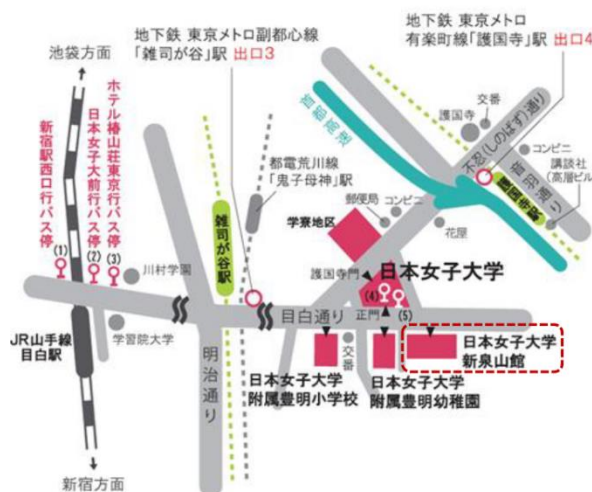


主催：応用物理学会微小光学研究会
協賛：日本光学会，オプトロニクス社



第 164 回微小光学研究会 「光の構造化は何をもたらすか」

さまざまな光の自由度（例：振幅，位相，偏光，時間，空間）を制御することにより，新たな光機能の発現を狙う研究テーマが近年活況を呈している．本研究会では「光の構造化（別称：Structured light）は何をもたらすか」と題して，様々な次元の切り口からその本質に迫っていく．最前線で活躍される講師陣の方々には，光の構造化が秘める可能性とその将来展望について議論いただく．



日時：2022年10月27日（木）13:00-17:10

会場：日本女子大学 新泉山館 **(オンライン同時開催予定)**

〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1

交通：JR 山手線「目白」駅下車 徒歩 15 分またはバス 5 分

東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅下車（3 番出口）徒歩 8 分

<https://www.jwu.ac.jp/grp/access/>

プログラム

13:00-13:10	開会の挨拶	
13:10-14:00	（基調講演）Structured light：その未来	尾松孝茂（千葉大）
14:00-14:30	光とナノ構造のスピン軌道相互作用制御とその活用	笹木敬司（北大）
14:30-15:00	新しい平面光学素子の原理と産業化	高原淳一（阪大）
15:00-15:20	<休憩>	
15:20-15:50	次元変換光コム	安井武史（徳島大）
15:50-16:20	光の内部自由度を操るトポロジカルフォトンクス	雨宮智宏（東工大）
16:20-16:50	メタサーフェスを利用した光位相変調・波面制御	岩見健太郎（農工大）
16:50-17:05	MOC2022 速報	水本哲弥（JSPS）
17:05-17:10	閉会の挨拶	

参加費（消費税込，資料代含む）：一般 5,000 円，応用物理学会会員 4,000 円

学生・シニア 2,000 円，学生・シニアの応用物理学会会員 1,000 円

参加申込：要事前申込，<http://www.comemoc.com/> よりお申込ください。

（開催前に予稿集と請求書を併せて郵送します．参加費を指定口座へお振り込みください．）

担当委員：岩本（東大），小川（日本女子大），諸橋（フジクラ），山下（東大），高（産総研）

問合せ先：高 (rai.kou-takahashi@nist.go.jp)（@を@に換えてください．）

微小光学研究会 代表：伊賀健一

運営委員長：中島啓幾

実行委員長：横森清

運営副委員長：波多腰玄一

実行副委員長：宮本智之

※プログラムは微小光学研究会のウェブサイト <http://www.comemoc.com/> でもご覧いただけます。

※オンライン同時開催予定です．現地会場における聴講は先着順のため，会場の定員に達する場合はオンライン聴講となりますのでご了承下さい。